

令和4年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援B型 事業報告書

1 総括

令和4年度は事業所内で2度の集団感染が発生し、それぞれ数日間、利用者の通所を停止するなど、これまでになく新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年であった。幸い重症者は出なかったが、改めて感染症対策の難しさを感じたところである。一方で新型コロナウイルスの全般的な症状の軽度化や社会的対応の変化もあり、徐々にコロナ流行前の活動に戻す取り組みを始めた。まずは、利用者からの要望が多かった作業終了後の余暇支援を8月から再開（散歩やDVD鑑賞など感染リスクの低いものから始めた）したが、利用者や家族からは歓迎の声が多く聞かれている。

事業の重点目標については数年来、PDC Aサイクルの実施による利用者支援の充実と作業活動の充実を柱に据えて取り組んできた。PDC Aサイクルについては、計画、実践と記録、評価の各段階において徐々に向上が図られてはいるが、計画の目標設定や評価が曖昧等の課題が依然みられており、まだ多くの改善が必要である。ただし、昨年度に課題が見られた利用者への言葉遣いなど接し方については大幅に改善が見られた。作業活動においては、これ迄の作業を継続し、概ね安定した作業提供を行うことができた。収入も令和3年度比で増額となり、利用者の平均工賃も前年度比でアップすることができた。

2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-5
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50人
- 6) 利用現員 73人（令和5年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員
管理者 1名
サービス管理責任者 2名（常勤換算1.2）
職業指導員 6名（常勤換算5.3）
生活支援員 9名（常勤換算7.5）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

職員グループ別内訳

・あかしあグループ

- 職業指導員 2名（常勤換算1.3）
- 生活支援員 4名（常勤換算3.2）
- 目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

・みどりグループ

- 職業指導員 4名（常勤換算4.0）
- 生活指導員 5名（常勤換算4.3）

3 基本理念

一人ひとりの自己実現の支援。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望の持てる生活。

4 基本方針

生き生きと働ける職場
日中活動の保障
豊かな生活の支援
個別支援計画に基づいた計画的な支援

安心できる将来への支援

5 実施事業

《あかしあグループ》

1) 就労支援事業

- (1) 傘の値付け
- (2) ダイレクトメール封入、封緘、シール貼り
- (3) 古着の値付け
- (4) 箱の組み立て
- (5) 小平市報の折込
- (6) 公園清掃
- (7) 神社清掃
- (8) 事務封筒製作
- (9) 緑化推進事業
- (10) タイルをレールに張る建築資材製作（令和4年5月より実施）

2) 生活支援事業

- (1) 夕方生活支援事業（令和4年8月より再開）

3) 行事

(1) 年間計画

- | | |
|-----|----------------|
| 5月 | 昭和記念公園散策 |
| 9月 | 羽村動物公園散策 |
| 11月 | 一泊旅行（茨城県大洗方面） |
| 12月 | 忘年会（味の民芸 東大和店） |
| 1月 | 初詣（小平神明宮） |
| 3月 | 木下大サーカス観賞 |

(2) その他

- 喫茶（月1～2回）

4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
準備	9:50～9:55
作業	9:55～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

《みどりグループ》

1) 就労支援事業

- (1) ポスティング作業

- (2) 古着の値付け
- (3) 箱の組み立て
- (4) マンション清掃
- (5) 事務封筒製作
- (6) 緑化推進事業
- (7) 空き缶つぶし
- (8) ダイレクトメール丁合、封入、封緘、シール貼り
- (9) 公園清掃
- (10) 資源回収
- (11) タイルをレールに張る建築資材製作（令和4年5月より実施）

2) 生活支援事業

- (1) 生活支援プログラム（週3日実施）
- (2) 夕方生活支援事業（週3日実施）
（令和4年8月より再開）

3) 行事

(1) 年間行事

- 4月 永年勤続表彰式
- 5月 所沢航空記念公園観賞
- 6月 スポーツ（西東京いこいの森公園）
- 7月 スイカ・パイナップル割り
- 8月 DVD鑑賞
- 9月 ビンゴ大会
- 10月 ミニゲーム（活動室）
- 11月 秋の一泊旅行（山梨県石和方面）
- 12月 クリスマス会（フォトブース作り、写真撮影）
- 1月 初詣（小平熊野宮神社）
- 2月 元職員小林氏のお疲れ様会
- 3月 DVD鑑賞

(2) その他

- 音楽教室（新型コロナウイルス流行のため、活動中止）

4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:00
朝礼	9:00～9:20
準備	9:20～9:40
作業	9:40～10:40
休憩	10:40～10:50
作業	10:50～11:50
休憩	11:50～13:00
昼礼	13:00～13:10
作業	13:10～14:10
休憩	14:10～14:20
作業	14:20～15:10
作業片付け	15:10～15:15
終礼・お茶	15:15～15:25
送迎・清掃	15:25～16:30
作業点検・記録等	16:30～16:45
職員打ち合わせ	16:45～17:30

1) 活動

《各グループ共通》

(1) 一人ひとりの利用者のニーズに沿った支援の実施

(支援のサイクル)

- ① 利用者の状況に合った丁寧な個別支援計画の作成及び共有
- ② 個別支援計画に基づく支援の実施
- ③ 支援経過等の共有、検証及び評価（会議やケース記録等を活用する）
- ④ 必要に応じた計画の見直し

(必要なニーズまた想定されるニーズ)

- ① 健康に関する問題
- ② 精神的な安定に関する問題
- ③ 作業に関する問題
- ④ 身体的な機能に関する問題
- ⑤ 生活状況の共有及び将来の生活に関する問題 等

【成果と課題】

一人ひとりの利用者の状況について、職員間での情報共有も良くできており、利用者職員との関係性も良好である。また、昨年度、見られた利用者に対する職員の高圧的や不機嫌な態度も改善されている。

P D C A サイクルの実施については、総括に記載の通り、計画作成、計画に基づいた支援の実施とその記録、評価また職員間の共有の各段階において、少しずつ向上が見られている。しかし、計画の目標設定が曖昧、ケース記録が断片的で全体像が分かりにくい、評価の視点がずれている、職員間のスキルの差など、まだ多くの課題がみられている。指導側のスキル不足も一つの要因であり、継続した学習が必要と考えている。

(2) 作業活動の充実

- ① 安定した作業提供
- ② 新規作業の開拓
- ③ 作業収入の増加・工賃向上
目標額 8,700,000円
- ④ 利用者の作業能力の維持、向上

【成果と課題】

- ① ダイレクトメール作業の納品と資材搬入の間の閑散期（半日から1日程度）は、資源回収作業や清掃作業など他の作業を中心に行うことや、事業所内の消毒、清掃、備品の手入れ等を行い、時間の有効活用に取り組んだ。年間を通して、概ね安定した作業や活動を提供することが出来た。
- ② 5月から建築資材となるタイルをレールに張る仕事の受注を開始した。受注量はあまり多くないが、納期がないうえ、多くの利用者が携わることができる作業であり、活動の充実と作業時間の効率的な使い方に役立っている。但し、利用者、職員共にまだ作業に不慣れで、発注業者が検品を行っている段階である。今後スキルの向上を図り、受注量を徐々に増やして行きたい。
- ③ ダイレクトメール作業の受注作業が増えたことと、資源物の卸単価が増額したこと、小平市の公園清掃の場所を1か所増やしたことなどにより、前年度同時期比で約82万円の増収となり、目標の収入を達成することが出来た。ただし、小平市からの資源回収の補助金の交付時期が遅れ、この分を4年度の工賃で支給できなかったため、月額平均工賃は8,883円となり、前年度の月額平均工賃を下回る結果となった（利用頻度の低い利用者の工賃を算定から除外する東京都指定の計算方法では月額平均工賃は10,288円で報酬ランクは維持できた）。未交付の補助金は5年度の利用者工賃として支給の予定である。

	作業収入	月額平均工賃
令和3年度実績	約858万円	11,276円
令和4年度目標	870万円	
令和4年度実績	約940万円	8,883円
目標の達成率	約108%	
前年度比	約82万円	△2,393円

- ④ 多くの利用者は、これまで行ってきた作業を継続して行い、作業能力は概ね維持できている。また、作業能力の向上がみられた利用者は多くはなかったが、下のような例があった。
- ・あかしあグループ・・・ダイレクトメール作業の丁合の工程が苦手だった1名の利用者に対して、その工程をなくし、1枚ずつ封入作業を行うよう促したことで、正確性が向上した。また、同じ利用者が宛名の住所シールを貼る際、貼る位置を示す型を使用することで、正確性が向上した。
 - 他の利用者1名は封筒を重しで固定することで、ダイレクトメールの封緘作業の正確性が向上した。
 - ・みどりグループ・・・1名の利用者が封筒作成作業の難易度の高い折りの工程に挑戦し、数回の練習により行えるようになった。

(3) 感染症対策の徹底

①一人ひとりの衛生保持、健康管理に関する情報共有

【成果と課題】

手洗い、消毒、マスクの着用、換気など基本的な感染症対策を実施した。マスクの着用が苦手な利用者へ繰り返し声かけを促したことで、少しずつ着用の時間が伸びているが、徹底には至っていない。8月25日に職員1名の新型コロナウイルス感染症罹患から始まり、その後、1～3日おきに罹患者が増え、感染拡大防止のため9月9日から13日迄（土日を除く3日間）、利用者の通所を停止した。結果的に9月13日までの間に利用者12名（内無症状1名）、職員3名の計15名が罹患したが、入院等の重症者はいなかった。

また、令和5年1月にも、8月と同様、集団感染が発生し、1月24日と25日の2日間、利用者の通所を停止した。結果的に利用者8名、職員5名の計13名が罹患し、内職員1名が咳などの後遺症により、1か月の静養が必要となったが、その他は、後遺症等は見られなかった。また、希望する利用者、職員に対して4月に3回目、9月に4回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施し、12月にインフルエンザの予防接種を実施した。

2) 人材育成

(1) グループリーダーのスキルアップ

- ① P D C A サイクルの知識・技術の向上
- ② 他の職員への指導力向上

【成果と課題】

- ① 1) — (1) に記載の通り。

(2) 職員のチームワークの強化

【成果と課題】

令和3年度は各職員が担当業務以外のことに関心が薄いという点が課題であったが、ミーティング等で繰り返し伝えることで、自分の担当業務以外に関心を持ち、お互いに協力し、相互補完する場面が増えてきている。

(3) 支援スキルの向上

【成果と課題】

- 1) — (1) の記載の通り。

3) 経営管理

- (1) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行するとともに、試算結果から課題が見えた場合は迅速に対応する。

【成果と課題】

月次試算報告で収支状況の確認を丁寧に行うことで、経営状態の把握に努めた。また、必要に応じて補正予算を行い、計画的に予算を執行することができた。

(2) 経費削減を徹底する。

- ① 未使用スペースの消灯等節電の徹底。
- ② 整理整頓により、備品、消耗品等の在庫管理を徹底する。
- ③ 印刷物については必要枚数の確認や、枚数の多いものについては試し刷りを行うなど無駄な印刷を行わないようにする。

【成果と課題】

消耗品の在庫管理や印刷前の確認などは概ね出来ていたが、未使用スペースの消灯など節電の徹底は不十分であった。

7 事故等報告

- 1) 11月 当事業所の駐車場の出入口にて、当方車両が目の前を通行していた当事業所の利用者が操作していた車いすに接触した。当該利用者及び運転手、同乗者に怪我はなく、車椅子に破損も認められなかった。警察に通報したが、当該利用者も被害届を出さず、事故としては処理されなかった。再発防止のため、全職員に安全確認の徹底を周知すると共に、駐車場出入口にあった植え込みを伐採し、運転者、通行人の視界を広くする対策をとった。

8 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
- 2) 開所日数
 - (1) 週開所日数 5日間
 - (2) 開所時間 午前8時30分～午後4時
 - (3) 年間延開所日数 242日間
 - (4) 平均活動時間 7時間

9 利用状況

- 1) 利用者延人員 11,785人 (前年度 12,751人)
- 2) 1日平均利用人員 48.7人 (前年度 52.9人)
- 3) 体験実習実人員 19人 (前年度 4人)
- 4) 体験実習延人員 57人 (前年度 16人)

10 利用者状況(令和5年3月31日現在)

1) 年齢

20歳未満	1名		
20歳以上30歳未満	11名		
30歳以上40歳未満	16名		
40歳以上50歳未満	13名		
50歳以上60歳未満	16名		
60歳以上70歳未満	11名		
70歳以上	5名	平均年齢	45.7歳

2) 障害の状況

愛の手帳2度	11名 (内身障手帳所持	1名)
愛の手帳3度	13名 (内身障手帳所持	2名)
愛の手帳4度	21名 (内身障手帳所持	5名、精神保健手帳所持 2名)
身体障害者手帳1級	9名 (内愛の手帳所持	3名)
身体障害者手帳2級	9名 (内愛の手帳所持	2名)

身体障害者手帳 3 級	3 名 (内愛の手帳所持 1 名、精神保健手帳所持 1 名)
身体障害者手帳 4 級	2 名
身体障害者手帳 5 級	3 名 (内愛の手帳所持 2 名)
身体障害者手帳 6 級	2 名
精神保健手帳 2 級	5 名 (内愛の手帳所持 1 名、身障手帳所持 1 名)
精神保健手帳 3 級	4 名 (内愛の手帳所持 1 名)
手帳なし	1 名

3) 通所手段

送迎車利用	3 3 名 (内 3 名交通機関、内 4 名徒歩等と併用)
交通機関利用	2 1 名 (内 3 名送迎車両、内 1 名徒歩等と併用)
徒歩等	1 9 名 (内 3 名送迎車両、内 2 名交通機関と併用)
家族送迎	2 名

4) 居住状況

管内居住	6 1 名	管外居住	1 2 名
------	-------	------	-------

5) 性別

男性	5 8 名	女性	1 5 名
----	-------	----	-------

1 1 作業収益及び工賃等

1) 作業総収入	9, 3 9 7, 1 0 6 円 (前年度 8, 5 7 9, 7 0 7 円)
2) 工賃総額	7, 8 4 1, 6 3 0 円 (前年度 1 0, 2 0 4, 8 0 0 円)
3) 平均工賃	月額 8, 8 8 3 円 (前年度 1 1, 2 7 6 円)
	日給 6 5 7 円 (前年度 8 0 2 円)
	時給 1 7 7 円 (前年度 2 1 8 円)

1 2 生活支援プログラム実施状況

1) 実施日数

(1) P G 実施日数	1 0 9 日
(2) 週平均実施日数	2 日

2) 利用者 (令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

(1) 利用者数	3 人
(2) 利用者延人数	1 5 2 人

3) 支援者 (令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

(1) 職員	3 人
(2) ボランティアスタッフ	5 人
(3) 職員延人数	4 4 人
(4) ボランティアスタッフ延人数	1 0 7 人

4) 内容

(1) ウォーキング	1 0 9 回
(2) プール	0 回

1 3 夕方生活支援事業実施状況

1) 参加者	実 2 1 名
2) 延べ	2 2 5 名
3) 延実施回数	6 5 回

4) 月別実施状況 (※ 8 月より事業再開)

実施月	実施回数	延参加人数
8 月	: 8 回	2 8 人
9 月	: 8 回	2 0 人

10月	:	8回	30人
11月	:	8回	34人
12月	:	8回	24人
1月	:	9回	26人
2月	:	8回	32人
3月	:	8回	31人

5) 内容別実施及び参加状況

内容	実施回数	延参加人数
さんぽ	8回	9人
ボウリング	17回	59人
料理	8回	39人
テーブルゲーム	3回	16人
ドライブ	8回	31人
DVD鑑賞	14回	59人
ヘアークット	7回	12人

1.4 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

1.5 防災計画

災害時避難訓練を年2回実施した。